

平山郁夫の版画40点並ぶ

12日までサン・アルプス大町で

大町市のサン・アルプス大町で12日まで、日本画家・平山郁夫(1930〜2009年)の版画展が開かれている。シルクロードや仏教伝来などをテーマに、生涯にわたり平和への願いを描き続けた平山郁夫の作品40点を版画で展示。

代表作の「仏教伝来」「パルミラ遺跡を行く」「薬師寺東塔」や、昼と夜の「シルクロードを行くキャラバン」などが並ぶ。同時開催の日本美術名作展では東山魁夷や横山大観などの作品計30点を展示している。

主催は絵画展の企画を行う「ほろぶエアーアンドアイ」(大阪府)。作品の予約販売もしており、収益の一部は日本ユネスコ協会連盟の「東日本大震災子ども支援募金」に寄付する。同社の市原清人社長は「平和への願いが込められている作品を見



て、心がやすらいでほしい」と話している。午前9時半〜午後5時半。問い合わせは同社 ☎072・805・0595まで。

社 ☎072・805・

0595まで。

平山郁夫さん作 版画40点大町に

隊商や古寺など描写 展示

文化勲章受章者の日本画家、故平山郁夫さんの作品の版画展が12日まで、大町市文化会館で開かれている。写真。シルクロードを行く隊商や古寺などを描いた約40点を展示・販売している。収益の一部は東日本大震災の子ども支援に充てられる。

「シルクロードを行くキャラバン(西・月)」「リトグラフ」や「薬師寺の月夜」(銅版画)などが並ぶ。デジタル技術で作った版画に日本画のような質感を加えた「巧芸画」もある。

同市大町の降旗俊一さん(72)は「大陸から伝わってきた文化の流れが絵になり、スケールが大きい」と話していた。美術作品展を手掛ける大阪府の「ほろぶエアーアンドアイ」が主催。

2020年(令和2年)7月11日 土曜日

